

行事／取組名称	ジュニアチャレンジ in 岡山		
担当者	味野道信, 原田勲		
開催日時・期間	2023年7月29日(土) 13:30～15:30	会場	人と科学の未来館・サイピア
主催	物理オリンピック日本委員会	協力	人と科学の未来館・サイピア
共催			
協賛			
概要			
<p>コロナが第5類に移行したとはいえ、なおその脅威が去ったわけではない。それらを考慮し、1. 人数の制限(参加者(保護者を含めて)を50人以内とし、お互いの間隔を取る)、2. 実験器具などは全て主催者側で配布する、3. 換気や手・机の消毒を行う、などの処置を行い実施した。</p> <p>この会は岡山で行われている様々な“物理オリンピック”情宣活動の一環として、毎年人と科学の未来館・サイピアとの共催として開催している。</p>			
参加者 教員・職員	生徒：小学生	保護者	
4名	17名	11名	

今回の会は小学生や保護者に物理オリンピックの実態を知って頂き、更にそれらの子供たちに“科学する心”を植え付けることを目的とした「ジュニアチャレンジ in 岡山」として実施したものである。皆さんの関心は広く、親子ともども熱心に講座を受講した。特に、お父さん方の関心は予想以上であった。

本年は岡山にとって、国際物理オリンピックが東京でまた物理チャレンジが岡山で開催される特別な年である。岡山では、県教育委員会も毎年冬に高校生を対象に“科学オリンピックへの道”と称する大会を開催するなど“物理オリンピック”への関心度が高い。この流れを支援するためにも、また物理オリンピック日本委員会が近年特に力を注いでいる若年層への働きかけを密にするためにも、上記企画は重要である。

講座では、まず原田が物理チャレンジと国際物理オリンピックの簡単な紹介と、浮力に関する話題を提供した。そして、氷を無色透明の2つの液体に浸した時、片方では浮かび他方では沈む現象から浮力の原理を考えた。保護者を交えて科学的な思考の筋道を楽しんだ。また、指をビーカーの水につけた時、ビーカーの底に浮力分だけ重力がかかっていることに驚きながらそれを秤で確かめた。

その後、味野が磁気の問題を取り上げ、電流と磁場と力の関係などについて学修した後、電池、導線、アルミ箔などを用いて“単極モーター”を制作させた。参加者はモーターを作ることにより、学修した電流と磁場と力の関係についてより身近に考えることができたようであった。

参加小学生たちは保護者とともに、熱心に話を聞いたり、与えられた実験課題を遂行するための実



験器具作成に手を動かしたりと実験に熱中したことは素晴らしく今後にも生きてくるものと期待する。
また、保護者もともに講座に参加し共に考えられたことが素晴らしい。

将来、この参加者から一人でも物理チャレンジやオリンピックに参加し、さらに科学研究者として世界に羽ばたく人材が出てくることを切に願っている。